

2022年度

3年生ガイダンス資料

↓ 文系教務課からのお知らせはこちらをご覧ください ↓



☆文系教務課 WEB <https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/>

☆人文学研究科/文学部 HP (コロナ関連授業等特設 Web)

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/hum_web

☆機構メールおよび NUCT サイト

名古屋大学文学部

文学部 教員一覧

2022年4月1日現在

言語文化系学位プログラム	文芸言語学コース	言語学	堀江 薫、佐久間淳一、宇都木昭、加藤高志、井土慎二、大島義和、	
		日本語学	齋藤文俊、宮地朝子	
		日本文学	塩村 耕、大井田晴彦	
		英語学	大名 力、田中智之、秋田喜美	
		英米文学	長畑明利、滝川 睦、上原早苗	
		ドイツ語ドイツ文学	中村靖子、山口庸子、安川晴基	
		フランス語フランス文学	小栗栖 等、加藤靖恵、奥田智樹、鳥山定嗣	
		中国語中国文学	丸尾 誠、星野幸代、田村加代子、笠井直美、佐野誠子、勝川裕子	
	哲学倫理学コース	哲学	布施 哲、鈴木 真	
		西洋古典学	吉武純夫、川本悠紀子	
		中国哲学	吉田 純、佐野大介	
		インド哲学	岩崎陽一	
	歴史文化系学位プログラム	歴史学・人類学コース	日本史学	池内 敏、古尾谷知浩、斎藤夏来、河西秀哉
			東洋史学	加藤久美子、林 謙一郎、土屋 洋
西洋史学			周藤芳幸、和田光弘、内田綾子、加納 修、北村陽子	
美学美術史学			木俣元一、伊藤大輔	
考古学			山本直人、梶原義実	
文化人類学			佐々木重洋、近本謙介、東 賢太郎、吉田早悠里	
環境行動学系学位プログラム	環境行動学コース	* 社会学	丹邊宣彦、室井研二、上村泰裕、福井康貴	
		** 心理学	大平英樹、田邊宏樹、磯村朋子	
		* 地理学	高橋 誠、横山 智、今里悟之、伊賀聖屋、齋藤 仁、久島桃代	
G30国際プログラム	「アジアの中の日本文化」プログラム (兼担)		藤木秀朗、岩田クリスティーナ、馬 然、ミギー・ディラン、	
			グルーノ・トリスタン・ロバート、安井永子	

*は環境学研究科所属、

**は情報学研究科所属

1. 学年暦

2022年度 学年暦

春学期(前期)

○ 祝日 □ 授業予備日

曜日 月	月	火	水	木	金	土	日	行 事 等
4	4	5	6	7	1	2	3	4/1~8 新入生ガイダンス等 4/5 入学式 4/11~6/12 春1期授業期間 4/23 春1期木曜午後開講授業の授業日
	11	12	13	14	8	9	10	
	18	19	20	21	15	16	17	
	25	26	27	28	22	23	24	
5	2	3	4	5	6	7	8	5/1 名古屋大学記念日 5/14 春1期金曜開講授業の授業日 5/28 春1期授業予備日
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
6	6	7	8	9	10	11	12	(6/9午後~6/12 名大祭) 6/6, 6/13~8/5 春2期授業期間
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				
7	4	5	6	7	8	9	10	7/23 春2期授業予備日
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
8	1	2	3	4	5	6	7	8/8~9/30 夏季休業 8/9, 10, 12 オープンキャンパス
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
9	5	6	7	8	9	10	11	9/21~30 G30新入生ガイダンス等 9/27 秋季卒業式
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			

秋学期(後期)

曜日 月	月	火	水	木	金	土	日	行 事 等
10	3	4	5	6	7	1	2	10/1 秋季入学式 10/3~11/30 秋1期授業期間 10/28 地震防災訓練
	10	11	12	13	14	8	9	
	17	18	19	20	21	15	16	
	24	25	26	27	28	22	23	
11	7	8	9	10	11	12	13	11/19 秋1期授業予備日 11/29 秋1期木曜開講授業の授業日
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
12	5	6	7	8	9	10	11	12/1~2/8 秋2期授業期間 12/10 TOEFL ITP試験(学部3年次) 12/17 TOEFL ITP試験(学部1年次) 12/28~1/7 冬季休業
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
1	2	3	4	5	6	7	8	1/6 Criterion試験(学部1年次) 1/13 大学入学共通テスト準備のため休講 1/14・15 大学入学共通テスト 1/10 秋2期金曜開講の授業日 1/21 秋2期授業予備日
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
2	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28						
3	6	7	8	9	10	11	12	3/27 卒業式
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

2. 卒業要件について

卒業に必要な単位は入学した年度の学生便覧に記載されている「文学部規程」による。

別の年度に規程されている文学部専門科目の単位を修得しても卒業出来ません。

(授業コード011・・・で始まる2016年度以前の入学者用科目、授業コード016・・・で始まる2022年度以降入学者用科目)

「名大文学部でどう学ぶか？」をよく読むこと。付録に別表の注釈も掲載しています。

・卒業要件について

「文学部規程」別表3のとおり修得すること。

※**仮進級者は言語文化科目の単位数を満たしているか確認すること。**

※**基礎基盤科目・基礎選択科目を2年生で修得していない学生は、今年度修得すること。**

※**学部共通実践科目の必修科目『人文学の学生のための情報リテラシー』を2年生で修得していない学生は、秋学期火曜2限に必ず履修してください。**

* 進級・卒業要件に関して疑問点がある場合は**ビズリーチキャンパス名大(文系教務課)**へ
文系教務課メールアドレス: bungaku@adm.nagoya-u.ac.jp

3. 他学部聴講について

他学部の授業を履修する場合、学部によっては別途手続きが必要な場合があるので、当該学部で確認すること。

4. 履修手続きについて

※2022年2月24日(木)より、名大ポータル等のログイン時に多要素認証が必須になっています。多要素認証の設定をしないと履修登録やNUCTが利用できないため、事前に設定を完了しておいてください。

【手続き案内 Web サイト】

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/CAS/>



- ① 文学部の専門科目を受講する場合は、履修登録(Web 登録)以外特に手続きを要することはありませんが、最初の授業には必ず出席すること。履修登録のスケジュールは以下のとおりです。(※名大ポータルを確認してください。)

履修登録入力期間 : 3月18日(金)9:00~3月28日(月)12:00

4月4日(月)18:30~4月5日(火)11:00

履修登録確認期間 : 4月8日(金)9:00~4月18日(月)

履修登録修正期間 : 4月11日(月)9:00~4月18日(月)13:00

※ 履修科目確認表に反映されていない科目は、NUCTの各講義サイトへ自動的に登録されません。履修科目確認表に反映されていない授業に参加を希望する場合は、必ず事前に授業担当教員に「氏名・学生番号・科目名・科目(講義)コード・受講のためNUCTへの追加登録を希望する旨」をメール等で連絡し、許可を得たうえで最初の授業に参加してください。(原則としてNUCT上の各講義サイトには、授業担当教員によって個別に追加登録してもらう必要があります。)

- ② 文学部の集中講義について

開講時期は決定次第、コロナ関連授業等特設Web(https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/hum_web)で周知しますが、履修希望のある集中講義は全て各期のはじめに登録しておくこと。

③ 履修取り下げについて

シラバスで当該授業の履修取り下げ制度利用について確認の上、授業担当教員へ申し出ること。

履修取り下げ制度を用いる場合の手続き期間：4月20日(水)～5月末

④ 文学部専門科目のシラバスは名古屋大学ポータルに載っています。

⑤ 授業の実施方法(対面又は遠隔)はシラバスで確認してください。対面授業の場合の講義室は人文学研究科/文学部 HP コロナ関連授業等特設 Web (https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/hum_web) で確認してください。また変更される可能性があるため、直前に NUCT で確認してください。

⑥ 履修登録の確認期間には、必ず登録状況を確認すること。不明なエラーが出ている場合は、すぐにビズリーチキャンパス名大(教務課窓口)で相談すること。

※全学教育科目の履修に必要な資料(「全学教育科目履修の手引」・「全学教育科目授業時間割表」・「履修手続きに関する注意事項」)については、教養教育院ホームページ (<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/>) 又は名大ポータルを確認してください。

5. 授業履修に関する注意事項

・アクセスポイントについて

常設のアクセスポイントは設けませんが、文学部棟および文系共同館の講義室については、空いている場合はアクセスポイントとして使用可能です。変更の場合は、コロナ関連授業等特設 Web (https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/hum_web) で周知します。

・年次情報セキュリティチェックについて

1年に1度情報セキュリティチェックを受講しなければなりません。新年度のセキュリティチェックは、4月から受講可能になります。受講しない場合、名大IDが停止され、NUCT等の利用ができなくなりますので必ず受講してください。年次情報セキュリティチェックサイト (<https://cert.nagoya-u.ac.jp/>)

6. 成績の結果について

Web(名古屋大学ポータル)より確認すること。成績に関して疑義がある場合は、成績が発表された日から原則3日以内に、担当窓口(全学教育科目については教養教育院事務室、専門系科目については文系教務課)へ「成績評価照会票」を提出してください。(様式は名古屋大学ポータル学務タブ内の“教育推進部からのお知らせ”からダウンロードしてください。)

7. 教育職員免許状取得に要する単位等について

・教員免許状を取得するために必要な単位の詳細は「教職課程の手引き」を参照してください。

名古屋大学ポータルログイン→授業・研修→学務→履修・成績(登録日程・保守期間等)→

「学務メニュー(学生向け)」→履修・成績関係→教職課程履修者へ

<http://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/gakumu/gakumubu/karte/top.html>

・今年度の「教科に関する専門的事項」科目一覧は NU-mado. 文系教務課 Web

(<https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載予定ですので確認してください。

・履修カルテは教職課程の初期段階から学生自身で随時作成していくものです。毎年春学期の成績確定後に提出してください。詳細については名古屋大学ポータルログイン→学務タブで確認してください。

・教職に関する連絡事項は NU-mado. 文系教務課 Web (<https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/>) または、ビズ・リーチキャンパス名大(文系教務課)ロビーに掲示します。

教育職員免許状の取得

【新課程用（2019年度以降入学者対象）】

免許状授与の所要資格の認定

文学部卒業者並びに大学院人文学研究科博士前期課程修了者に対する免許状授与の所要資格の認定を受けているものは次のとおりです。

文学部

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
人 文 学 科	国語，社会，英語	国語，公民，地理歴史，英語

人文学研究科

専 攻	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
人文学専攻	国語，社会，英語	国語，公民，地理歴史，英語

中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状の基礎資格と最低修得単位数

中学校教諭及び高等学校教諭の免許状を取得する場合には、下の表に示すように単位を修得しなければなりません。

表において、「教科及び教科の指導法に関する科目」とは、各免許教科に関する科目であり、取得しようとする免許状の学校種、免許教科により内容が異なります。「教育の基礎的理解に関する科目等」とは、どの免許状を取得する場合にもほぼ共通に修得しなければならない科目です。

本学における単位等の修得方法

		基礎資格	本学における最低修得単位数										介護等 体 験
			教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目				
			教科に関する専門的事項	各教科の指導法	教育の基礎的理解に関する科目	道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目		日本国憲法	体 育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	
中学校教諭	一種	学士の学位を有すること	24	8	10	10	7	—	2	2	2	2	7日間
	専修	修士の学位を有すること	(24)	(8)	(10)	(10)	(7)	24	(2)	(2)	(2)	(2)	(7日間)
高等学校教諭	一種	学士の学位を有すること	32	4	10	8	5	—	2	2	2	2	—
	専修	修士の学位を有すること	(32)	(4)	(10)	(8)	(5)	24	(2)	(2)	(2)	(2)	—

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」、「情報機器の操作」）の単位等修得方法

教育職員免許法施行規則に定める科目	単位等修得方法
日本国憲法	全学教育科目の文系基礎科目の中の「日本国憲法」2単位を修得
体育	全学教育科目の「健康・スポーツ科学の中の健康・スポーツ科学実習Ⅰ及びⅡ」から2単位以上を修得
外国語コミュニケーション	<p>全学教育科目の言語文化 英語（コミュニケーション）、英語（上級）、英語（セミナー） 英語検定試験（注1）</p> <p>ドイツ語1・2・3・4、中級ドイツ語1・2、上級ドイツ語1・2 フランス語1・2・3・4、中級フランス語1・2、上級フランス語1・2 ロシア語1・2・3・4、中級ロシア語1・2、上級ロシア語1・2 中国語1・2・3・4、中級中国語1・2、上級中国語1・2 スペイン語1・2・3・4、中級スペイン語1・2、上級スペイン語1・2 朝鮮・韓国語1・2・3・4、中級朝鮮・韓国語1・2、上級朝鮮・韓国語1・2 ＊）上記科目から2単位以上を修得</p>
情報機器の操作	<p>全学教育科目又は、学部専門科目から2単位以上修得</p> <p>○全学教育科目は下記のとおり、 理系基礎科目……………情報リテラシー（文系） 理系教養科目……………図情報とコンピュータ 理系教養科目……………情報リテラシー（理系） （シラバス等で受講対象学部等を確認のうえ履修してください）</p> <p>○学部専門科目は下記のとおり。（所属学部の開講科目を受講すること。） 文 学 部……………情報学演習</p> <p>なお、大学院生については、学部専門科目を受講して「情報機器の操作」に関する単位を修得すること。（全学教育科目の受講は認められない。）</p>

（注1：3年次編入で入学した学生は、教職の単位になりません。）

「教育の基礎的理解に関する科目等」および「各教科の指導法」単位修得方法

WEB掲載の「教職課程の手引き」を参照のこと。

名大ポータルログイン → 学務 → 履修・成績（登録日程・保守期間等） → 学務メニュー（学生向け）
 → 履修・成績関係 → 教職課程履修者へ

「教科に関する専門的事項」単位修得方法

中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状	
免許 教科	中学校教諭免許状取得に必要な単位数		高等学校教諭免許状取得に必要な単位数	
	免許法に定める科目区分	本学で 指定する 単位数	免許法に定める科目区分	本学で 指定する 単位数
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	各科目区分で 1単位以上 合計 24単位	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	各科目区分で 1単位以上 合計 32単位
	国文学（国文学史を含む。）		国文学（国文学史を含む。）	
	漢文		漢文	
	書道（書写を中心とする。）			
社 会	日本史・外国史	各科目区分で 1単位以上 合計 24単位	_____	_____
	地理学（地誌を含む。）			
	「法律学，政治学」			
	「社会学，経済学」			
地 理 歴 史	_____	_____	日本史	各科目区分で 1単位以上 合計 32単位
	_____		外国史	
	_____		人文地理学・自然地理学	
	_____		地誌	
公 民	_____	_____	「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	各科目区分で 1単位以上 合計 32単位
	_____		「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	
	_____		「哲学，倫理学，宗教学，心理」	
英 語	英語学	各科目区分で 1単位以上 合計 24単位	英語学	各科目区分で 1単位以上 合計 32単位
	英語文学		英語文学	
	英語コミュニケーション		英語コミュニケーション	
	異文化理解		異文化理解	

注 ①「免許法に定める科目区分」欄に掲げられた名称に「・」が含まれている場合は、「・」で結ばれた科目を全てにわたって修得し，“「」”が付されている場合は，“「」”内の科目の1つ以上にわたって修得しなければならない。また，“（…を含む）”とされている場合は，その内容を含んだ科目を修得しなければならない。

②各教科に関する専門科目中，他学部の聴講により修得しなければならない単位もあるので注意すること。

介護等体験について

中学校教諭免許状を取得しようとする場合，7日間の社会福祉施設，特別支援学校での介護等体験が必要です。介護等体験は，原則として3年次に行うので，実施の前年度に所定の申込みをしてください。（高等学校教諭免許状のみを修得しようとする場合は，介護等体験に参加する必要はありません。）

8. 学芸員資格の取得について

【新課程用（平成 29 年度以降入学者対象）】

1. 学芸員の職務

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員です。

2. 学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得することにより、学芸員となる資格を得ることができます。（博物館法第5条）

教育職員免許状とは異なり、免許状のようなものは交付されませんが、博物館などに就職する際の資格要件となる「学芸員資格」を有することを証明するための「単位取得証明書」が発行されます。

3. 学芸員資格取得に必要な博物館に関する科目の単位

文部科学省令で定める博物館に関する科目及び単位数と本学において開講する科目との関係は下表のとおりです。

なお、他学部学生が受講できない科目や、毎年開講しない科目もあるため、詳細については開講学部の学生便覧等を参考にしてください。

省令科目名	単位数	本学における開講科目	開講学部
生涯学習概論	2	社会教育学講義Ⅰ	教育学部
		社会教育学講義Ⅱ	
博物館概論	2	生涯学習概論	文学部
		博物館概論	文学部
博物館概論	2	博物館概論	全学教育科目 (博物館教員による授業)
博物館経営論	2	博物館経営論	文学部
博物館資料論	2	博物館資料論	文学部
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	文学部
		博物館資料保存論	文学部 (博物館教員による授業)
博物館展示論	2	博物館展示論	文学部
博物館教育論	2	博物館教育論	文学部
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	文学部
博物館実習※2	3	日本史博物館実習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ・Ⅳ 美術史実習Ⅰa, Ⅰb, Ⅱa, Ⅱb 考古博物館実習Ⅰa, Ⅰb, Ⅱa, Ⅱb 一般博物館実習(見学実習), (実務実習), (館園実習)	文学部
		博物館実習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ ※1	理学部 (博物館教員による授業)

※1 博物館実習1, 2, 3については、全学教育科目「博物館概論」を受講し終えた者の受講が望ましい。

※2 受講方法については「博物館実習の受講について」を参考にすること。

4. 博物館関連法の改正について

博物館関連法が改正され、平成 24 年度入学者からは、文部科学省令で定める博物館に関する科目が前ページ表のとおりとなりました。

平成 24 年 4 月 1 日以前に博物館に関する単位を修得している場合は、次の読み替え表により対応する新省令科目に読み替え、不足する単位を前ページ表の科目を履修して補うことになります。

なお、平成 24 年度入学者には、編入学者、大学院進学者及び科目等履修生も含まれます。

旧省令科目（単位数）	新省令科目（単位数）
生涯学習概論（1単位）	生涯学習概論（2単位）
博物館概論（2単位）	博物館概論（2単位）
博物館経営論（1単位）	博物館経営論（2単位）
博物館資料論（2単位）	博物館資料論（2単位）
—————	博物館資料保存論（2単位）
—————	博物館展示論（2単位）
教育学概論（1単位）	博物館教育論（2単位）
博物館情報論（1単位） 視聴覚教育メディア論（1単位）	博物館情報・メディア論（2単位）
博物館実習（3単位）	博物館実習（3単位）

5. 学芸員の資格取得を目的として本学の科目等履修生となる場合について

本学の学籍を有しなくなった後、学芸員の資格取得を目的として、本学の科目等履修生となって関連科目の履修を希望する場合、多くの科目において履修制限が設けられているため、履修が認められない場合があります。履修の可否について、全学教育科目及び博物館教員による博物館実習は履修を認められていません。その他の科目については開講学部に問い合わせてください。

博物館実習の受講について

学芸員資格にかかる「博物館に関する科目」のうち、博物館実習（3単位）の受講方法については、下記の通りとしますので、充分確認の上、履修して下さい。

博物館実習の単位取得方針：

・博物館実習は、学生の所属や専門に応じた科目群の3単位以上を取得する必要があります。3単位には博物館実習の内容として必要な、次の4つの内容を網羅していなければなりません。

A：学内実習（見学実習）

B：学内実習（実務実習）

C：館園実習

D：事前・事後指導

・科目群を越えて履修を希望する場合は、前述したA B C Dが網羅されるよう科目担当教員の履修指導を経た上で履修することとする。

・博物館実習の科目名と上記A B C Dの対応関係は以下の通りです。

（科目群1）「**博物館実習Ⅰ**」1単位（博物館教員担当）：A B C D

「**博物館実習Ⅱ**」1単位（博物館教員担当）：A B C D

「**博物館実習Ⅲ**」1単位（博物館教員担当）：A B C D

（科目群2）「**日本史博物館実習Ⅰ**」1単位：A

「**日本史博物館実習Ⅱ**」1単位：C D

「**日本史博物館実習Ⅲ**」とした「日本史史科学概説Ⅰ」「日本史史科学概説Ⅱ」「日本史史科学概説Ⅲ」「日本史史科学概説Ⅳ」のうち2単位：（「日本史博物館実習Ⅳ」を理解する前提となる科目であり、A B C Dのいずれにも該当しない。従って「日本史博物館実習Ⅲ」だけでは博物館実習の単位として認められない。）

「**日本史博物館実習Ⅳ**」とした「日本史演習Ⅰa」「日本史演習Ⅰb」「日本史演習Ⅱa」「日本史演習Ⅱb」「日本史演習Ⅲa」「日本史演習Ⅲb」「日本史演習Ⅳa」「日本史演習Ⅳb」のうち2（博物館実習としては1）単位：B

（科目群3）「**美術史実習Ⅰa**」1単位：A B D

「**美術史実習Ⅰb**」1単位：A B D

「**美術史実習Ⅱa**」1単位：C

「**美術史実習Ⅱb**」1単位：C

（科目群4）「**考古博物館実習Ⅰ**」1単位：B D

「**考古博物館実習Ⅱ**」1単位：A D

「**考古博物館実習Ⅲ**」1単位：C D

（科目群5）「**一般博物館実習（見学実習）**」1単位：A

「**一般博物館実習（実務実習）**」1単位：B

「**一般博物館実習（館園実習）**」1単位：C D

※文学部日本史学・美学美術史学・考古学の各分野・専門以外の学生は原則、科目群1もしくは科目群5から「博物館実習」3単位を取得。

9. 健康診断について

2022年4月13日(水)～28日(木)で行いますので、必ず受診してください。

予約は、保健管理室WEBサイトで4月10日から開始します。詳細は、保健管理室のホームページを確認してください。

**詳細はホームページで確認し、忘れ物がないようにしてください!!
学生証の磁気が使用できるか確認してください!!**



名大健診 

<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/>

10. 日本学生支援機構奨学生について

NU-mado. 文系教務課 Web(<https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/>)で周知するため、注意して見てください。

11. 各種証明書について

学割証、在学証明書、卒業(修了)見込証明書(学部4年次・M2のみ、休学中は発行不可)、健康診断証明書(年度はじめの定期健康診断を受診した者のみ)、成績証明書は、ビズリーチ・キャンパス名大(文系教務課ロビー)等に設置の自動発行機(稼働時間は平日の8:30～17:15)により発行します。

自動発行機はメンテナンス等のため停止する場合がありますので注意してください。

オンライン申請での発行もできます。ただし、有料となる場合があります。証明書の発行には、土日祝日を除き3日(所定外の証明書及び英文証明書は5日程度)かかるため、注意してください。

オンライン証明書発行について <https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/syomei>

通学証明書は4月以降、文系総合館1階ビズリーチ・キャンパス名大(文系教務課)にて配布します。

12. ビズリーチキャンパス名大(文系教務課)の事務窓口時間について

平日月～金 8:30～17:00(ただし、授業期間外は10:00～12:00 13:00～16:00)

コロナ感染防止対策として、窓口予約制をとっています。予約は文系教務課メールアドレス

(bungaku@adm.nagoya-u.ac.jp)へ連絡してください。変更することもあるので、NU-mado. 文系教務課 Web(<https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/>)を確認してください。